

# 施策 57

## 基本施策 2 地域特性を生かした都市空間の形成

### 市内の拠点におけるまちづくりの推進

#### めざす姿 (施策の目的)

地域特性をいかした、にぎわいのある拠点市街地が形成されるとともに、各拠点が連携し合うことで、本市全体における「まちの魅力」が創出されています。

#### 現状と課題

府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）に示す各拠点において、にぎわいのある拠点市街地の形成を図るため、拠点としてふさわしい土地利用の誘導やまちづくり体制の構築に取り組む必要があります。

特に、現在まちづくりが進められている次の2地区の拠点については、各種計画等に基づき、着実に事業の推進を図る必要があります。

分倍河原駅周辺地区では、駅周辺の回遊性の向上や駅前空間の不足への対応等の課題を解決するため、地域住民や交通事業者を始めとした関係者との協働によるまちづくりを進めています。

府中基地跡地留保地周辺地区では、令和3年（2021年）の米軍通信施設跡地の日本への返還等の状況の変化に適切に対応して、令和7年（2025年）に国へ「府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画」を提出したことから、利用計画に基づく留保地及び米軍通信施設跡地の土地利用が図られるよう推進していきます。

#### 施策の方向性

- 分倍河原駅周辺地区では、分倍河原駅周辺地区まちづくり基本計画や府中市都市・地域交通戦略に基づく取組を展開し、市民協働によるまちづくりを推進していきます。
- 府中基地跡地留保地周辺地区では、利用計画に基づく留保地及び米軍通信施設跡地の土地利用の推進を図り、平和の森公園及び生涯学習センターの敷地を含めた一体的な土地利用を推進することで、本市全体の活性化につながる、将来を見すえた、にぎわいと活力を生み出していきます。

指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
まちの拠点整備に関する満足度(過去5年平均)	47% (R2~6平均)	基準値以上	市民意識調査により把握した、まちの拠点整備に関する満足度(過去5年平均)です。

主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
分倍河原駅周辺整備事業 <b>重点</b>	老朽化した南北こ線橋*の架け替え、駅前における歩行者が憩える空間の確保及び駅舎の改良などハード整備に向けた取組を進めるとともに、快適でにぎわいのある商店街の形成や良好な居住環境を保全するための計画づくりなど、ソフト面の取組を着実に展開していくため、地域住民や交通事業者等との協議・検討を進めます。
府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業 <b>重点</b>	府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地の土地利用の推進に向け、国の土地処分に係る必要な手続を進めるとともに、新設道路等の基盤整備及び生涯学習センター敷地等の一体的な利用に向けた準備・手続を進めます。

協働により推進したい取組

- ▶ 各拠点や拠点間の連携における、魅力ある持続可能なまちづくりに関すること。



分倍河原駅周辺



府中基地跡地留保地周辺地区